

第15回「先輩と語る」講演会

厚生労働省、国際機関およびNPOでの経験

演者：津田重城 さん（24期生）

医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団常務理事

日時：10月17日（月）18:30-20:00

場所：北海道大学薬学部臨床薬学講義室

主催：北海道大学薬学部 共催：日本薬学会北海道支部

後援：北海道大学薬学部同窓会

津田重城さんは、1983年に大学院修士課程（薬品有機化学講座）を修了後、厚生省に入省されました。以来、薬務局安全課勤務等を経て、経済協力開発機構（OECD、パリ）環境局派遣後、厚生省国際課でWHO関係担当等を務めました。その後、PMDA（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構）国際課等勤務の後、退官し、一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団（旧日本公定書協会）で勤務しています。いろいろなポストを経験しましたが、3年を超える海外勤務の経験を生かして、国際関係を長く務めました。

現職では、マネジメントのほか、主に製薬会社の薬事、開発、安全対策、品質保証部門の人々を対象に、医薬品医療機器の品質・有効性・安全性に関して、現在の薬務行政に対して、国際的な視点から問題を提起するような研修会の企画運営に携わっています。この研修会は、約5年間で100回を超えて開催を続けています。

今回の講演では、このような経験から、医薬品行政や企業を取り巻く国際的な環境の変化、日本の医薬品行政の課題等について話す予定です。これらの問題に興味を持っている方々のご参加をお待ちしております。当日は質問時間をもうけますので活発に質問していただけることを期待します。会場が狭いので早めにお越し下さい。

連絡先：北大大学院薬学研究院薬化学研究室 松田 彰（011-706-3228）